

つながりを広げて、暮らしを守る

市町村や関係機関と連携し、持続可能な公共サービスや医療・介護の体制づくりに取り組みます。また、地域の魅力向上や地域内外の交流の活性化をめざします。

地域交通リ・デザイン(2,000万円) 新

地域交通を持続可能なものとするため、各市町村の現状把握や課題分析などを行い、広域的な地域交通の再構築に向けた取組を進めます。

ごみ処理の「長期広域化・集約化計画」策定(593万円) 新

ごみ処理施設の運営を維持していくため、市町村と協力して運営の広域化や集約化を促進する計画を策定します。

関係人口※創出拠点の設置(231万円) 新

多様な人材が集まる首都圏の共創施設を活用し、地域の魅力を発信・交流することで、継続的な人のつながりを育み、関係人口の増加を図ります。

※地域外に住みながら、継続的に多様な形で地域に関わる人々



活用検討中の首都圏共創施設

ドクターヘリ※機体購入(3年間の債務負担で計21億円) 新

県の救急医療に不可欠なドクターヘリの機体を新たに購入・整備し、安定的な運航を図ります。

※救急患者を短時間で運ぶための医療用ヘリコプター



看護職員確保対策の推進(2,578万円) 新

県内の各地域に、コーディネーターを配置するとともに、関係者のネットワークを構築し、地域ごとに課題の検討や看護人材のマッチングを進めます。

中山間地域訪問介護等支援(1,700万円) 新

中山間地域に介護サービスを提供する事業者を支える市町村に対し、支援を行います。

安全な社会基盤を築き、 さまざまな脅威から命を守る

防災・減災対策や県土の強靱化を着実に進めるとともに、犯罪への対応力を強化します。

旧南紀白浜空港跡地の防災拠点整備(2億1,713万円) 拡

災害時に防災関係機関の応援航空機を受け入れるため、ヘリコプター場外離着陸場の整備や航空燃料保管庫・資機材倉庫の建設を行います。



被災者生活再建支援基盤整備(5億2,375万円) 拡

市町村と協力し、住家被害認定調査や罹災証明書の発行、被災者の支援状況の集約等を一元的にできるシステムの導入を進めます。また、被災者の生活再建を助けるための公的基金である「被災者生活再建支援基金」に資金拠出を行います。

道路ネットワーク強化(256億3,532万円)

国内外の活発な人流・物流を地域に呼び込むとともに、半島防災※の観点から大規模災害への備えを強化するため、紀伊半島一周高速道路の整備等を進めます。

※周囲を海に囲まれ、地理的に孤立しやすい特性のある半島地域における防災対策



提供：紀南河川国道事務所

匿名・流動型犯罪グループの一掃に向けた取組強化(1,041万円) 新

SNS等を利用して実行犯を募集する手口で特殊詐欺や強盗等を広域的に行う犯罪グループへの対策として、県民に一層効果的な注意喚起を行うとともに、ネットワーク型監視カメラシステムを導入し、捜査体制を整備します。

県WEBサイトでより詳しく主要事業の紹介をしています。



誰にでも居場所がある社会をつくる

子どもにやさしい社会づくりや女性が活躍できる環境づくり、時代に即したスポーツ・文化芸術活動の環境整備などに取り組みます。

子ども意見聴取(686万円)

子どもが県の取組に対して意見を言える機会を確保します。また、放課後児童クラブの質の向上に向け、アドバイザーが施設を巡回して子どもと放課後児童支援員の意見を聴き取ります。

えるぼし認定※取得支援(600万円) 新

女性が働きやすい職場づくりを応援するため、企業のえるぼし認定取得を専門家の派遣で後押しするとともに、継続や上位の認定をめざすための取組を支援します。

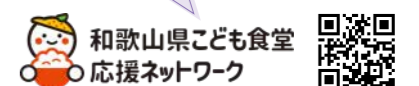
※女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を国が認定する制度



子ども食堂支援(2,732万円)

子どもの居場所や多世代交流の拠点を確保するため、子ども食堂の新規開設のための経費や、子ども食堂とさまざまな機関をつなぐネットワークの構築を支援します。

専用サイトで情報を発信しています



多機関ワンストップサービス体制の構築(1,049万円) 拡

犯罪被害者やその家族の負担を減らし、平穏な暮らしを取り戻すことを支援するため、相談等のさまざまなサポートをワンストップで提供します。